CISCO SYSTEMS



Catalyst 2960 スイッチ スタートアップ ガイド

本社
Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-1706
USA
http://www.cisco.com
電話 : 408 526-4000
800 553-NETS (6387)
ファクシミリ : 408 526-4100

部品番号 :OL–9504–01

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: The equipment described in this manual generates and may radiate radio-frequency energy. If it is not installed in accordance with Cisco's installation instructions, it may cause interference with radio and television reception. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in part 15 of the FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

Modifying the equipment without Cisco's written authorization may result in the equipment no longer complying with FCC requirements for Class A or Class B digital devices. In that event, your right to use the equipment may be limited by FCC regulations, and you may be required to correct any interference to radio or television communications at your own expense.

You can determine whether your equipment is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the Cisco equipment or one of its peripheral devices. If the equipment causes interference to radio or television reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

• Turn the television or radio antenna until the interference stops.

• Move the equipment to one side or the other of the television or radio.

• Move the equipment farther away from the television or radio.

• Plug the equipment into an outlet that is on a different circuit from the television or radio. (That is, make certain the equipment and the television or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

Modifications to this product not authorized by Cisco Systems, Inc. could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

Catalyst 2960 スイッチ スタートアップ ガイド
© 2006 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



第 1 章

スタートアップ ガイド

このガイドについて

このスタートアップガイドには、Express 設定 を使って Catalyst スイッチを初期設定する方法が記載されています。また、スイッチの管理オプション、基本的なラック設置の手順、ポートおよびモジュールの接続、電源の接続手順、トラブルシューティング ヘルプについても解説されています。

Catalyst 2960 スイッチのその他のインストレーションおよび設定については、Cisco.com の Catalyst 2960 のマニュアルを参照してください。システム要件、重要な注意事項、制限事項、未解決および解決済みのバグ、最新のマニュアル更新状況については、Cisco.com のリリース ノートを参照してください。

オンラインの資料を使用する場合は、スイッチで実行する Cisco IOS ソフトウェアのバージョンに対応するものを参照してください。ソフトウェアのバージョンは、スイッチの背面パネルの Cisco IOS ラベルに記載されています。

このガイドに記載されている警告の各国版については、付属の *Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2960 Switch* を参照してください。

部品の確認

手順は次の通りです：

1. 梱包用の箱を開き、スイッチとアクセサリ キットを取り出します。
2. 梱包材は梱包用の箱に戻し、将来の使用に備え保管しておいてください。
3. 「梱包内容」に記載されている部品が揃っていることを確認します。不足または破損しているアイテムがある場合には、購入された代理店に連絡してください。一部のスイッチ モデルには、「梱包内容」に記載されていない部品も含まれています。

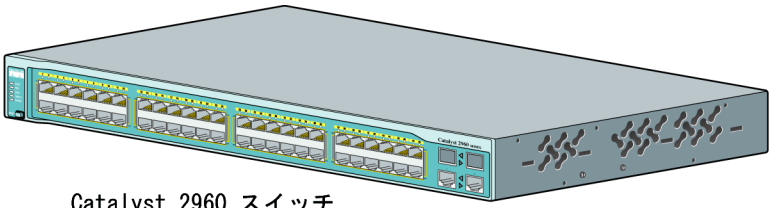
Express 設定の実行に必要な機器（ユーザ側で用意するもの）

Express 設定 を実行するには、次の機器が必要です。

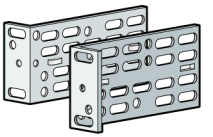
- PC
- カテゴリ 5 のストレート イーサネット ケーブル（下図を参照）



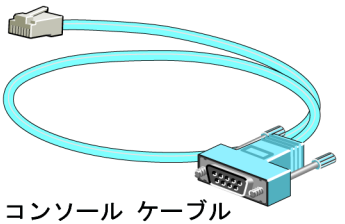
梱包内容



Catalyst 2960 スイッチ



19 インチ用マウント ブラケット× 2



コンソール ケーブル



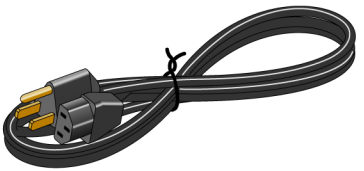
No.12 の小 ネジ×4



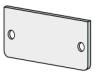
No.8 のトラストヘッド ネジ× 4



No.8 のフラットヘッド ネジ× 6



AC電源コード



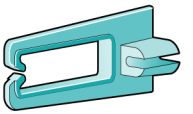
冗長電源装置（RPS）用コネクタ カバー



No.4のなべネジ× 2



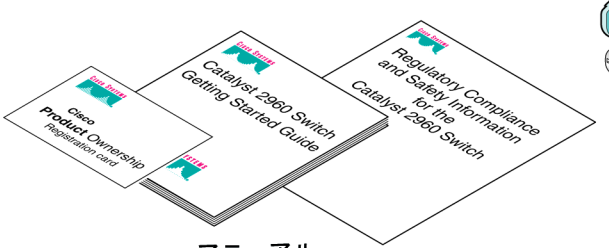
ゴム製の脚×4



ケーブル ガイド



黒の小ネジ× 1



マニュアル

154190

Express 設定 の実行

初めてスイッチをセットアップする場合、Express 設定 を使って初期 IP 情報を入力する必要があります。IP 情報を入力すると、スイッチをローカル ルータとインターネットに接続できます。その結果 IP アドレスを使ってスイッチにアクセスし、詳細な設定ができるようになります。

Express 設定の実行手順は次の通りです：

手順 1　スイッチに接続されている装置がないことを確認します。Express 設定 実行中はスイッチが DHCP サーバとして動作するからです。PC に静的な IP アドレスが設定されている場合は、あらかじめ PC の設定を変更し、一時的に DHCP を使用する設定にします。

手順 2　電源コードをスイッチとアース付き AC コンセントに接続します。電源投入時セルフテスト（POST）が開始されます。POST 実行中、一連のテストによりスイッチが正常に動作していることが確認されている間は LED が点滅します。POST 実行中、LED は予測不可能なほどに点滅し変化します。

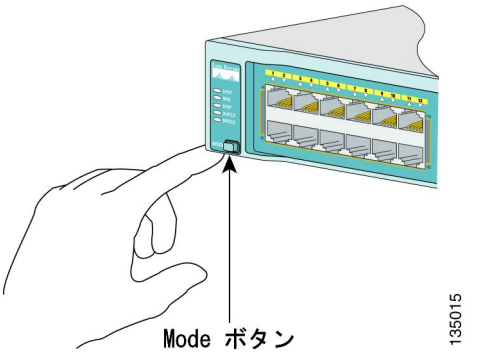
手順 3　スイッチの POST が完了するまで待機します。スイッチが POST を完了するまで数分かかることもあります。

手順 4　POST が完了すると、SYST LED のグリーンの点滅が速くなりますので確認してください。POST に失敗すると SYST LED がオレンジに変わります。

POST エラーは通常、修復不能です。スイッチが POST に失敗した場合は、ただちに Cisco Systems にご連絡ください。

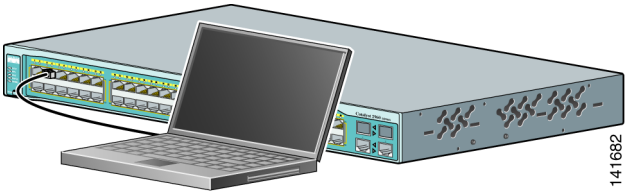
手順 5　Mode ボタンを押したまま 3 秒待ちます。Mode ボタンの上側の LED がすべてグリーンに変わったら、Mode ボタンを離します。

Mode ボタンを押した後ボタン上側の LED が点滅する場合は、ボタンから手を離します。LED が点滅する場合はスイッチが設定済みとなっており、Express 設定 モードが利用できません。詳細については、「スイッチのリセット」（p.1-18）を参照してください。



手順 6　Mode ボタンの上側の LED がすべてグリーンになっていることを確かめて、スイッチが Express 設定 モードであることを確認します。（一部のスイッチ モデルでは RPS LED はオフのままです。）

手順 7　カテゴリ 5 のストレート イーサネット ケーブル（付属していません）を、スイッチの前面パネルの 10/100 または 10/100/1000 イーサネット ポートおよび PC のイーサネット ポートに接続します。

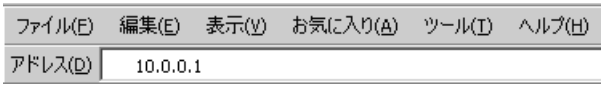


DHCPを有効にした PC

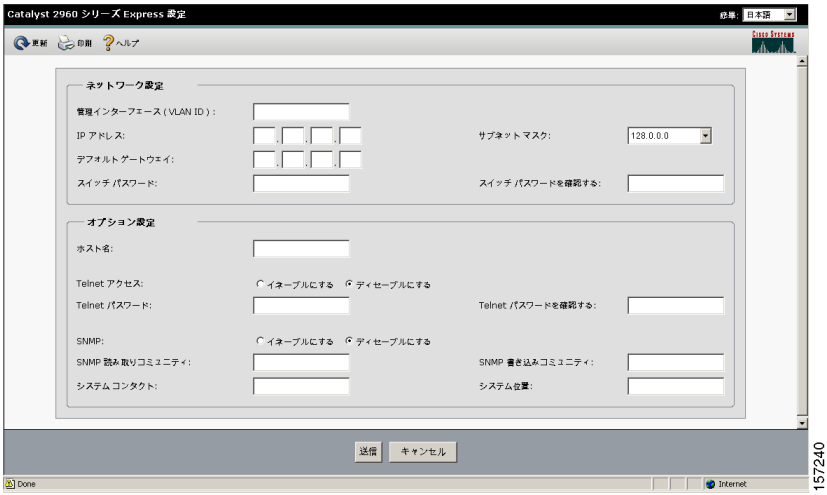
手順 8　両方のイーサネット ポートの LED がグリーンになっていることを確認します。

手順 9　30 秒間待ちます。

手順10　PC の Web ブラウザを起動します。ブラウザに IP アドレス **10.0.0.1** を入力し、**Enter** を押します。



手順11 Express 設定 ページが表示されます。ページが表示されない場合は、「問題が発生した場合」（p.1-17）を参照してください。注：入力はすべて、英数字で行います。



手順12 **ネットワーク設定** フィールドに、次の情報を入力します：

- **管理インターフェース（VLAN）**フィールドのデフォルトは 1 です。スイッチを管理して IP を割り当てる管理インターフェースを変更する場合にだけ、新しい VLAN ID を入力します。VLAN ID の範囲は 1 ～ 1001 です。
- **IP アドレス** フィールドにスイッチの IP アドレスを入力します。**サブネット マスク** フィールドでは、下向きの矢印をクリックして**サブネット マスク** を指定します。
- **デフォルト ゲートウェイ** フィールドに、デフォルト ゲートウェイ（ルータ）の IP アドレスを入力します。
- **スイッチ パスワード** フィールドにパスワードを入力します。このパスワードは 1 ～ 25 文字の英数字で、数字から開始でき、大文字と小文字が区別されます。スペースを挿入できますが、最初と最後にスペースを入れることはできません。**スイッチ パスワードを確認する** フィールドにもう一度パスワードを入力します。

手順13 （オプション）デバイス マネージャ インターフェースを使用して、**オプション設定** の情報をこの時点で入力することもあとから入力することもできます。

- **ホスト名** フィールドにスイッチの名前を入力します。ホスト名は 31 字以内で、途中にスペースを含めることはできません。
- **システム コンタクト** フィールドにスイッチの担当者名を入力します。**システム位置**フィールドに、スイッチが設置されている配線クローゼット、階、またはビルを入力します。
- CLI（コマンドライン インターフェース）でスイッチを管理するために Telnet を使用する場合は、**Telnet アクセス** フィールドで、**イネーブルにする** をクリックします。Telnet によるアクセスを有効にするには、Telnet のパスワードを入力する必要があります。
- **Telnet パスワード** フィールドにパスワードを入力します。Telnet のパスワードは 1 ～ 25 文字の英数字で指定でき、大文字と小文字は区別されます。途中にスペースを使用することはできますが、先頭または末尾にはスペースを使用できません。**Telnet パスワードを確認する** フィールドに、もう一度 Telnet パスワードを入力します。
- **SNMP** フィールドで**イネーブルにする** をクリックすると、SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）が有効になります。SNMP は、CiscoWorks2000 またはその他の SNMP ベースのネットワーク管理システムを使ってスイッチを管理しようとしている場合にのみ有効にします。

  SNMP を有効にする場合、**SNMP 読み取りコミュニティ** フィールドと **SNMP 書き込みコミュニティ** フィールドの両方またはどちらか一方にコミュニティ ストリングを入力する必要があります。SNMP コミュニティ ストリングにより、MIB オブジェクトへのアクセスが認証されます。SNMP コミュニティ ストリングの途中にスペースを使用することはできません。SNMP 読み取りコミュニティを設定した場合、SNMP 情報にアクセスはできますが、SNMP 情報の変更はできません。SNMP 書き込みコミュニティを設定した場合、SNMP 情報にアクセスすることも SNMP 情報を変更することもできます。

手順14 **送信** をクリックすると設定が保存されます。**キャンセル** をクリックすると設定が解除されます。

送信 をクリックすると、スイッチが設定され、Express 設定 モードを終了します。PC に警告メッセージが表示され、新しいスイッチ IP アドレスに接続しようとします。スイッチに PC とは異なるサブネットの IP アドレスを設定した場合、PC とスイッチの接続ができなくなります。

手順15 スイッチを PC から切り離し、ネットワーク内に設置します。スイッチの設定および管理については、「スイッチの管理」（p.1-8）を参照してください。

Express 設定 を再実行する必要がある場合は、「スイッチのリセット」（p.1-18）を参照してください。

PC の IP アドレスの更新

Express 設定 を完了したら、PC の IP アドレスを更新します。

動的に割り当てられた IP アドレスの場合、スイッチから PC を切り離し、ネットワークに再接続します。ネットワーク DHCP サーバにより、PC に新しい IP アドレスが割り当てられます。

静的に割り当てた IP アドレスの場合、前回設定した IP アドレスに戻します。

スイッチの管理

Express 設定 を完了し、スイッチをネットワークに設置したら、このセクションで説明されている、デバイスマネージャ、Cisco Network Assistant、または他の管理オプションを使って詳細設定を行います。

デバイス マネージャの使用

スイッチを管理する最も簡単な方法は、スイッチ メモリの中にあるデバイス マネージャを使用することです。デバイス マネージャは、迅速な設定やモニタを提供する使い勝手の良いインターフェースです。デバイス マネージャは、Web ブラウザを使用してネットワーク上の任意の場所からアクセスできます。

手順は次の通りです：

1. PC またはワークステーション上で、Web ブラウザを起動します。
2. ブラウザにスイッチの IP アドレスを入力し、**Enter** を押します。デバイス マネージャのページが表示されます。
3. デバイス マネージャを使って、基本的なスイッチの設定やモニタを実施します。デバイス マネージャの詳細はオンライン ヘルプを参照してください。
4. 詳細設定については、次のセクションで説明されている Cisco Network Assistant をダウンロードし実行してください。

Cisco Network Assistant のダウンロード

Cisco Network Assistant は、ユーザが Cisco.com からダウンロードして自分の PC で使用できる無料のソフトウェアです。Network Assistant には、スイッチ、スイッチ クラスタ、スイッチ スタック、ルータ、アクセス ポイントなどの複数の装置を設定してモニタするための詳細なオプションが用意されています。

手順は次の通りです：

1. デバイス マネージャのページで、**Network Assistant** を選択します。
2. お使いの PC 上に、指示の通りプログラムをダウンロードします。
3. Network Assistant を使用して、複数のスイッチやデバイスの設定やモニタを行います。詳細は、Network Assistant の『Getting Started Guide』およびオンライン ヘルプを参照してください。

コマンドライン インターフェース (CLI)

CLI 経由で Cisco IOS コマンドとパラメータを入力できます。CLI には PC から直接スイッチ コンソール ポートに接続するか、リモート PC またはワークステーションから Telnet セッションを通じて接続します。

手順は次の通りです：

1. 付属の RJ-45/DB-9 アダプタ ケーブルを、PC の標準 9 ピンのシリアル ポートに接続します。ケーブルの反対側をスイッチのコンソール ポートに接続します。

2. PC で、端末エミュレーション プログラムを起動します。
3. PC 端末エミュレーション ソフトウェアを、9600 ボー、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット、フロー制御なしに設定します。
4. CLI を使って、スイッチを設定するコマンドを入力します。詳細については、Software Configuration Guide および Command Reference を参照してください。

その他の管理オプション

CiscoWorks Small Network Management Solution（SNMS）や HP OpenView といった SNMP 管理アプリケーションを使用して、スイッチの設定やモニタを行うことができます。また、HP OpenView や SunNet Manager などのプラットフォームを実行している、SNMP 互換ワークステーションからスイッチを管理することもできます。

Cisco IE2100 Series Configuration Registrar は、スイッチ ソフトウェア内蔵の CNS エージェントとともに動作するネットワーク管理装置です。IE2100 を使用すると、スイッチの初期設定と設定更新を自動化できます。

対応するマニュアルの一覧については、「オンライン ヘルプの利用」（p.1-19）を参照してください。

ラックの設置

ここでは、基本の 19 インチ用ラックマウントとスイッチ ポート接続について説明します。例として使用する図はすべて Catalyst 2960G-48TC-L スイッチのものです。Catalyst 2960G-48TC-L や他の Catalyst2960 スイッチの取り付けと接続も、ここで示す図と同じように行うことができます。スイッチを 24 インチ ラックや壁に設置するなどといったその他の取り付け手順や、その他のケーブル情報については、Cisco.com で *Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide* を参照してください。

ユーザ側で用意する工具

ラック設置用の No.2 プラス ドライバを用意する必要があります。

作業を開始する前に

スイッチの取り付け場所を決める場合は、次の注意事項に適合していることを確認してください。

- スイッチの周囲および通気口を通過する空気の流れが妨げられないこと。
- スイッチ周辺の温度が 45° C（113° F）を超えないこと。
- スイッチ周辺の湿度が 85 % を超えないこと。
- スイッチの前面および背面パネルの周囲のスペースが、次の条件を満たしていることが必要です：
  - 前面パネル LED が無理なく確認できること。
  - ポートに無理のないケーブル接続ができること。
  - AC 電源コンセントからスイッチ背面パネルのコネクタまで、AC 電源コードを配線できること。
- ケーブルはラジオ、電力線、蛍光灯などの電気ノイズの発生源から遠ざけて配線します。
- 取り付け場所が標高 3,048 m（10,000 フィート）を超えないようにします。
- 10/100 ポートおよび 10/100/1000 ポートの場合、スイッチから接続先装置までのケーブル長が 100 m（328 フィート）を超えないようにします。
- Small Form-Factor Pluggable（SFP）のケーブル長については、モジュールに付属のマニュアルを参照してください。

設置に関する警告

このセクションでは、設置に関する基本的な警告を説明します。各国語版の警告は、スイッチに付属の *Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2960 Switch* に記載されています。

警告　この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

警告　スイッチの加熱を防ぐため、推奨されている最高周囲温度、摂氏 45 度（華氏 113 度）を超える場所で作業をしないでください。気流の停滞を防ぐため、換気孔から 7.6cm（3 インチ）以上の間隔をとってください。

警告　機器の取り付けは地域および国内の電気工事規定に遵守する必要があります。

警告　この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、システムが安定しているかどうかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

警告　この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないよう注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合には、電気検査機関または電気技術者に相談してください。

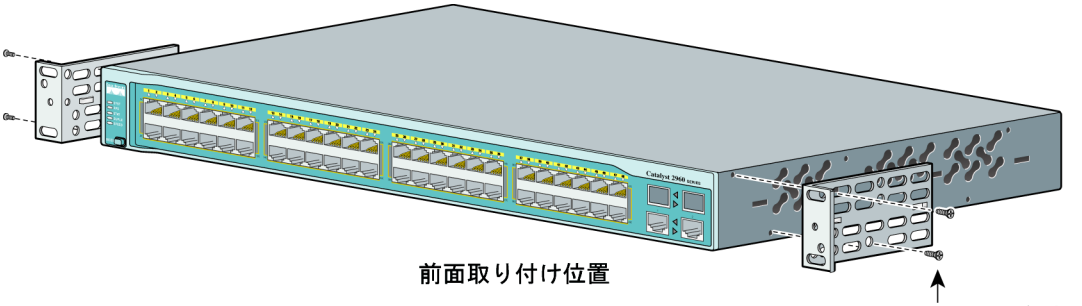
警告　Redundant Power System（RPS）がスイッチに接続されていない場合、スイッチの後ろの部分に RPS コネクタ カバーを設置してください。

警告　クラス1レーザー製品です。

警告　装置を設置する建物の外部への接続には、回路保護機構が組み込まれた認定済みのネットワーク終端ユニットを使用して、次のポートを接続する必要があります。
10/100/1000 Ethernet

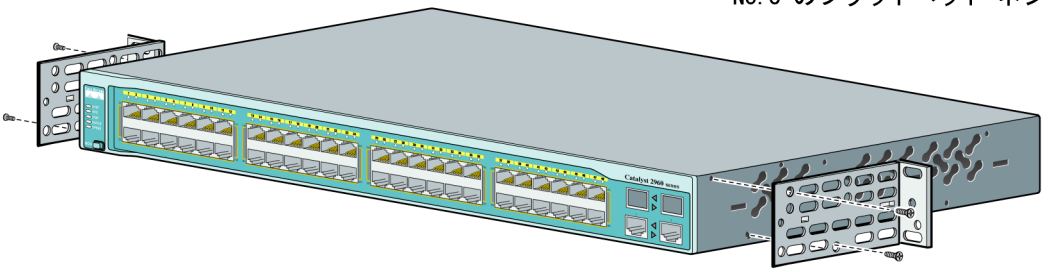
ブラケットの取り付け

フラットヘッド ネジを 4 本使用して、Catalyst 2960 スイッチの 3 箇所の取り付け位置のうちいずれか 1 箇所にブラケットの長手方向を取り付けます。

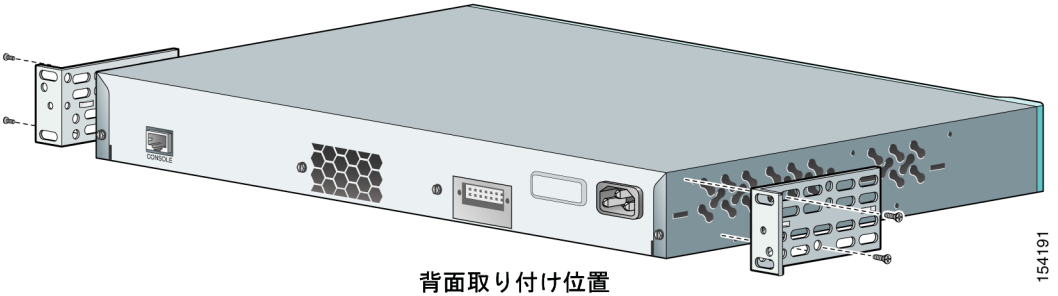


前面取り付け位置

No.8 のフラットヘッド ネジ



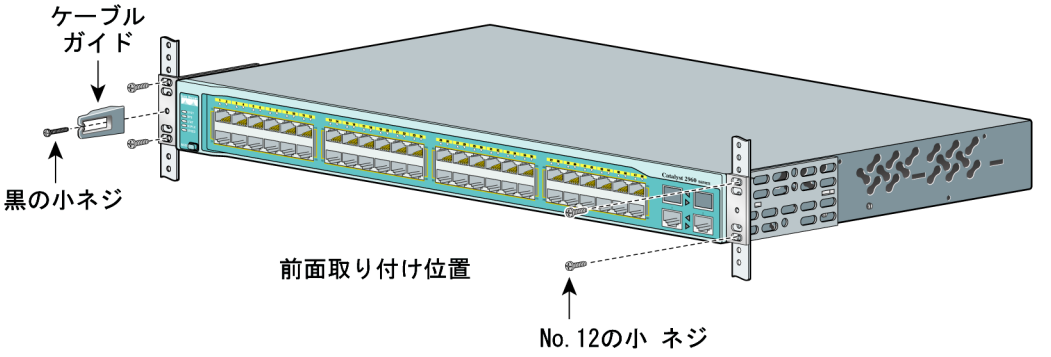
中間ラック取り付け位置（Telco ラック）

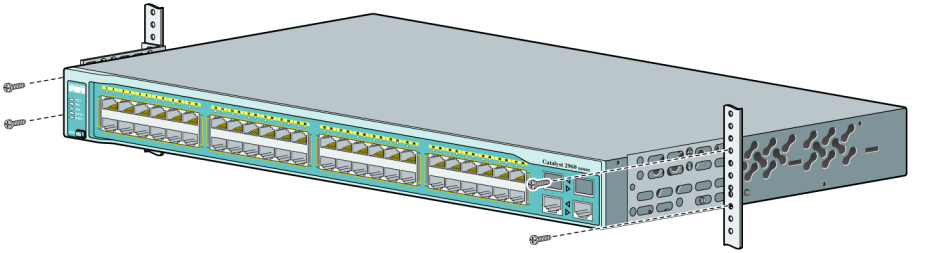


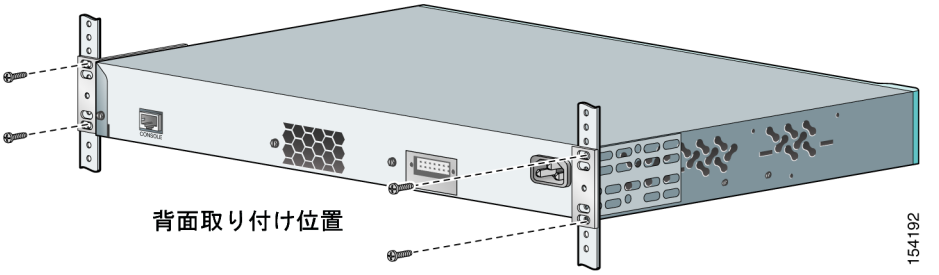
背面取り付け位置

スイッチの取り付け

No.12 の小ネジを 4 本使用して、ラックにブラケットを取り付けます。黒の小ネジを使用して、右または左のブラケットにケーブル ガイドを取り付けます。







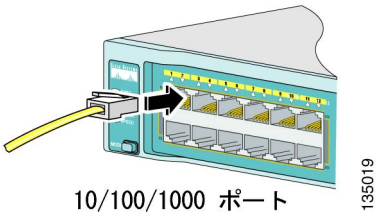
スイッチ ポートへの接続

このセクションでは、固定スイッチポートと SFP モジュール ポートに接続する方法を説明します。

10/100 および 10/100/1000 ポートへの接続

手順は次の通りです：

手順 1　サーバ、ワークステーション、IP Phone、ワイヤレス アクセス ポイント、ルータに接続する場合は、スイッチの 10/100 および 10/100/1000 ポートにカテゴリ 5 の 4 ツイストペア ストレート ケーブルを挿入します。他のスイッチ、ハブ、リピータに接続する場合は、カテゴリ 5 の 4 ツイストペア クロス ケーブルを使用します。

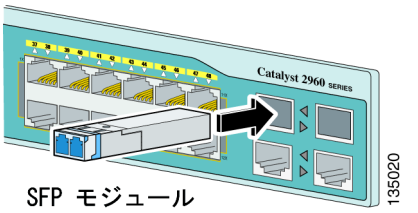
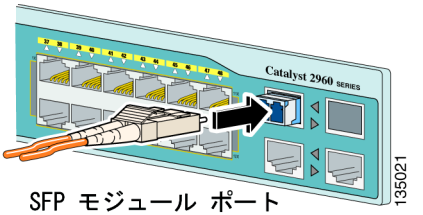


手順 2　ステップ 2 接続先装置の RJ-45 コネクタにケーブルの反対側を差し込みます。

注　デフォルトで Automatic Medium-Dependent Interface Crossover（auto-MDIX）機能がイネーブルに設定されます。スイッチで銅線イーサネット接続に必要なケーブル タイプが検出され、それに応じてインターフェースが設定されます。したがって、スイッチ上の 10/100、10/100/1000、1000BASE-T の銅線 SFP モジュール ポートには、接続先装置の種類にかかわらず、クロス ケーブルとストレート ケーブルのどちらも使用できます。

SFP モジュールの取り付けとポートへの接続

手順は次の通りです：

手順 1	モジュールの両側をつかみ、スイッチ スロットの奥にカチッとはまるまでモジュールを押します。	 SFP モジュール
手順 2	モジュール ポートに対応するケーブルを差し込みます。ケーブルの反対側を接続先装置に差し込みます。	 SFP モジュール ポート

サポート対象のモジュールのリストは、Cisco.com の『Release Note』を参照してください。SFP モジュールの取り付け、取り外し、接続方法の詳細は、SFP モジュールに付属のマニュアルを参照してください。

注意　SFP モジュールは、着脱によって製品寿命が短くなることがあります。SFP モジュールの取り付けや取り外しは必要最低限にしてください。

ポート接続の確認

スイッチ ポートに接続したあとリンクが確立されると、ポート LED はオレンジになります。約 30 秒でこのプロセスが完了すると、ポート LED はグリーンに変わり、スイッチと接続先装置の間にリンクが確立されます。ポート LED が点灯しない場合、接続先装置が起動していない、ケーブルに問題がある、接続先装置のアダプタに問題があるといった理由が考えられます。オンライン窓口については「問題が発生した場合」（p.1-17）を参照してください。

問題が発生した場合

問題が発生した場合は、このセクションまたは Cisco.com のヘルプを参照してください。ここでは Express 設定 のトラブルシューティング、スイッチのリセット、オンライン ヘルプへのアクセス方法、その他の情報の参照先について説明します。

Express 設定 のトラブルシューティング

Express 設定 が実行されない、または Express 設定 のページがブラウザに表示されない場合 :

• Express 設定 を起動する前に、POST が正常に動作するのを確認しましたか？	POST の動作を確認していない場合、SYST および STAT LED だけがグリーンになっていることを確認してから Mode ボタンを押すと、Express 設定 モードになります。
• スイッチが POST を実行しているときに Mode ボタンを押しましたか？	POST 実行中にボタンを押した場合、POST が完了するまでお待ちください。スイッチの電源を切って再投入してください。POST が完了するまで待ちます。SYST および STAT LED がグリーンであることを確認します。Mode ボタンを押すと Express 設定 モードになります。
• スイッチが Express 設定 モードであることを確認せずに操作を続けようとしましたか？	MODE ボタンの上側の LED がすべてグリーンであることを確認します。（RPS LED はオフ）必要に応じて MODE ボタンを押すと Express 設定 モードになります。
• PC に静的な IP アドレスが設定されていますか？	PC に静的な IP アドレスが設定されている場合、PC を一時的に DHCP を使用する設定に変更してからスイッチに接続します。
• スイッチ ポートと PC のイーサネットポートをストレート イーサネットケーブルではなくクロス ケーブルで接続しましたか？	クロス ケーブルで接続されている場合、スイッチと PC のイーサネット ポートはストレート ケーブルで接続します。30 秒待ってから、ブラウザに **10.0.0.1** と入力します。

• イーサネット ケーブルを、スイッチの 10/100 または 10/100/1000 イーサネット ポートではなく、コンソール ポートに接続しましたか？	コンソール ポートに接続した場合は接続を解除します。スイッチと PC のイーサネット ポートに接続してください。30 秒待ってから、ブラウザに **10.0.0.1** と入力します。
• スイッチと PC を接続したあと 30 秒待ってからブラウザに IP アドレスを入力しましたか？	30 秒待っていない場合は、ブラウザに **10.0.0.1** と再入力してから **Enter** を押します。
• ブラウザに間違ったアドレスを入力したりエラー メッセージが表示されたりしていますか？	アドレスを間違えたりエラー メッセージが表示されたりしている場合は、ブラウザに **10.0.0.1** と再入力してから **Enter** を押します。

スイッチのリセット

ここでは、Express 設定 を再実行してスイッチをリセットする方法を説明します。スイッチのリセットが必要なのは次のような場合です：

- ネットワークにスイッチを設置したが、割り当てた IP アドレスが間違っていたために接続できない。
- スイッチの設定をすべて解除し、新しい IP アドレスを割り当てたい。
- Express 設定 モードの起動時に MODE ボタンを押すと、スイッチの LED が点滅する（この場合、スイッチには IP 情報が設定されている）。

注意　スイッチをリセットすると、設定が削除されスイッチが再起動します。

スイッチをリセットする手順は次の通りです：

- MODE ボタンを押し続けます。約 3 秒後にスイッチの LED が点滅し始めます。MODE ボタンを押し続けます。7 秒後に LED の点滅が止まり、スイッチが再起動します。

スイッチは未設定の状態になります。「Express 設定 の実行」（p.1-4）で説明されている方法で Express 設定 を使用して、スイッチの IP 情報を入力します。

オンライン ヘルプの利用

最初に Cisco.com の *Catalyst 2960 Hardware Installation Guide* または *Catalyst 2960 Software Configuration Guide* の「トラブルシューティング」で問題の解決法を探します。Cisco Technical Support および Documentation サイトで、次のような既知のハードウェアの問題とさまざまなトラブルシューティング マニュアルを利用することもできます。

- 出荷時のデフォルト設定およびパスワードの復旧
- 不良および行方不明のソフトウェアの復旧
- スイッチ ポートの問題
- ネットワーク インターフェース カード
- トラブルシューティング ツール
- 現場での注意事項とセキュリティ勧告

手順は次の通りです：

1. ブラウザを開き、http://www.cisco.com/ に進みます。
2. **Technical Support and Documentation** をクリックします。
3. Documentation の下にある **Switches** をクリックします。
4. LAN Switches の下にある **Cisco Catalyst 2960 Series Switches** をクリックします。

その他の詳細情報について

スイッチの詳細については、Cisco.com で次のマニュアルを参照してください。

- *Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*（発注はできませんが、Cisco.com から入手できます）。
- *Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2960 Switch* (order number DOC-7816880=).
- *Release Notes for the Catalyst 2960 Switch*（発注はできませんが、Cisco.com から入手できます）。
- *Catalyst 2960 Switch Software Configuration Guide*（発注はできませんが、Cisco.com から入手できます）。

- *Catalyst 2960 Switch Command Reference*（発注はできませんが、Cisco.com から入手できます）。
- *Catalyst 2960 Switch System Message Guide*（発注はできませんが、Cisco.com から入手できます）。

資料の入手方法

Cisco の資料および付属の文書類は Cisco.com でご利用いただけます。また、Cisco のテクニカル サポート、およびその他の技術リソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、Cisco Systems からの技術情報の入手方法についてご説明いたします。

Cisco.com

Cisco 製品の最新資料は、次の URL でご覧いただけます。

http://www.cisco.com/techsupport

Cisco の Web サイトの URL は次の通りです。

http://www.cisco.com

各国語でご覧いただけるインターナショナルな Cisco の Web サイトも利用できます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Product Documentation DVD

Product Documentation DVD は、製品マニュアルをポータブルなメディアに格納した包括的なライブラリです。この DVD を使用することにより、Cisco のハードウェアおよびソフトウェア製品のインストレーション、設定、コマンドガイドに関し、複数のバージョンを利用することができます。また、インターネットに接続しなくても、Cisco の Web サイト上の HTML の資料と同じ文書にアクセスすることができます。一部の製品については、PDF 形式の資料もご利用いただけます。

Product Documentation DVD は、一回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ（Cisco Direct Customers）は、次の URL から Product Documentation DVD（製品番号 DOC-DOCDVD= or DOC-DOCDVD=SUB）を発注することもできます。

http://www.cisco.com/go/marketplace/

マニュアルの発注方法

Cisco.com 登録ユーザは、以下の URL の Cisco Marketplac 内の Product Documentation Store で、Cisco の製品資料を発注することができます。

http://www.cisco.com/go/marketplace/

Cisco.com に登録していない場合は、午前 8 時から午後 5 時（PDT）まで、電話で技術文書を発注することができます。電話番号は、米国およびカナダ国内：1 866 463-3487、その他：011 408 519-5055。また、電子メール（tech-doc-store-mkpl@external.cisco.com）、ファックスでの発注も可能です。ファックス番号は、米国およびカナダ国内：1 408 519-5001、その他：011 408 519-5001 となります。

マニュアルへのフィードバック

Cisco の技術文書について、評価を行い、フィードバックを送付することができます。Cisco.com の技術文書内に表示されるフィードバック フォームに記入してください。

また、お手元の文書の表紙裏に記載のレスポンスカード（ない場合もあります）や、その他の書面によって、Cisco 文書についてのコメントを提出することもできます。レスポンスカードをお使いでない場合は下記の住所をご利用ください。

Cisco Systems
Attn: Customer Document Ordering
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-9883

コメントをお待ちしております。

シスコ製品のセキュリティの概要

Cisco では、オンラインのセキュリティ脆弱性ポリシー ポータルを、次の URL で、無料で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトは、次の目的に利用できます。

- Cisco 製品のセキュリティ脆弱性を報告する。
- Cisco 製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を受け取るために登録する。

Cisco 製品に関するセキュリティ勧告、注意事項および回答の最新のリストは、以下の URL でご利用いただけます。

http://www.cisco.com/go/psirt

セキュリティ勧告、注意事項および回答を、リアルータイムで確認したい場合は、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) feed を購読することもできます。PSIRT RSS feed の購読方法は以下の URL をご覧ください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

Cisco 製品のセキュリティ問題の報告

Cisco は、安全な製品を提供するよう全力を尽くしています。製品のリリース前には社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するよう努めています。万一、お客様が Cisco 製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 - security-alert@cisco.com

  緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている状態、または至急の対応を要する重大なセキュリティ脆弱性が報告されている状態を言います。これに該当しない場合は、緊急度は低いものと見なされます。

  緊急度の低い問題 - psirt@cisco.com

緊急の場合には、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532

ヒント　Cisco に機密情報をお送りいただく際には、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品を使用して情報を暗号化することをお奨めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x ～ 9.x と互換性のある暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限の切れた暗号鍵は絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、次の URL の Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セッションからリンクできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページのリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできます。

PGP をご使用でない場合は、機密情報を送信する前に上述の電子メールアドレスまたは電話にて PSIRT にお問い合わせの上、データを暗号化する方法を見付けてください。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。また、Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、広範囲にわたるオンラインでのサポート リソースを提供しています。さらに、Cisco との有効なサービス契約を結んでいる場合は、Cisco Technical Assistance Center（TAC）のエンジニアたちが、電話でのサポートも提供します。Cisco との有効なサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにご連絡ください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングや Cisco 製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。この Web サイトは、24 時間いつでも利用できます。次の URL にアクセスしてください：

http://www.cisco.com/techsupport

Technical Support & Documentation Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。有効なサービス契約をお持ちのお客様で、ユーザ ID およびパスワードをお持ちでない場合は、次の URL で登録してください：

http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do

注　Web サイトやお電話でサービスをリクエストされる前に、Cisco Product Identification（CPI）ツールを使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。CPI ツールへは、Documentation & Tools の下にある **Tools & Resources** リンクをクリックして、Cisco Technical Support & Documentation のサイトからアクセスできます。Alphabetical Index ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下にある **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックしてください。CPI ツールは、3 つの検索オプションを提供します：製品 ID またはモデル名によるもの、ツリー表示、および特定の製品に対する **show** コマンド出力のコピー＆ペーストによるものです。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

Service Request の利用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます。（S3 および S4 の問題とは、ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合を意味します。）状況をご説明いただくと、TAC Service Request ツールが推奨する解決方法を提供します。推奨リソースで問題が解決しない場合も、Cisco のエンジニアにサービス リクエストが割り当てられます。TAC Service Request ツールは次の URL にあります：

http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください。（S1 または S2 の問題とは、運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合を意味します。）S1 および S2 の問題には Cisco の技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話によるサービスリクエストの開設は、次の電話番号をご利用ください。

アジア太平洋地区：+61 2 8446 7411（オーストラリア：1 800 805 227）

EMEA: +32 2 704 55 55

USA: 1 800 553-2447

Cisco TAC の包括的な連絡先リストは、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/techsupport/contacts

問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、Cisco は問題の重大度を定義しました。

重大度 1（S1）— 既存のネットワークがすべてダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。Cisco は 24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2（S2）— ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、または Cisco 製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。Cisco は通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3（S3）— ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。Cisco は通常の業務時間内に納得のできるレベルまでサービスの復旧を行います。

重大度 4（S4）— Cisco 製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務への影響がほとんどまたはまったくないものとします。

その他の広報物および情報の入手方法

Cisco 製品、テクノロジーおよびネットワークソリューションに関する情報は、オンラインまたは印刷物としてさまざまな形式で入手することができます。

- *Cisco Product Quick Reference Guide* は、流通関連のパートナーを通じて販売されている Cisco 製品に関する簡便な製品概要、主要な特徴、サンプルパート番号および簡潔な技術仕様を収録した、手元において役に立つ、コンパクトな参照ツールです。年に二回発行され、最新の Cisco 情報が盛り込まれます。Cisco Product Quick Reference Guide についての詳細、および発注は、次の URL からアクセスしてください。

  http://www.cisco.com/go/guide

- Cisco Marketplace では、さまざまな Cisco の書籍、参考資料、マニュアル、およびロゴ入り商品を提供しています。当社のショップ、Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。

  http://www.cisco.com/go/marketplace/

- *Cisco Press* では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く刊行しています。初心者にも上級者にも役立つ出版物を取り揃えています。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

  http://www.ciscopress.com

- *Packet* は、Cisco Systems が発行するテクニカルユーザ向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するものです。*Packet* は毎号、最近の業界動向や、テクノロジーの進展、および Cisco 製品やソリューションに関する記事をはじめ、ネットワークの配置やトラブルシューティングのヒント、設定例、お客様の事例研

究、認定やトレーニングに関する情報、および多数の詳細なオンライン リソースへのリンクが盛り込まれています。*Packet* は、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/packet

- *iQ Magazine* は、テクノロジーを使った収益の増加、ビジネス効率の向上およびサービスの拡大を図る方法を学ぶことを目的とした、Cisco Systems が発行する成長企業向けの季刊誌です。この季刊誌では、実際の事例研究や事業戦略を用いて、テクノロジーの投資に関して読者が正しい判断を行う手助けをします。iQ Magazine へは、次の URL からアクセスしてください。

  http://www.cisco.com/go/iqmagazine

  または、次の URL からオンライン版をご覧いただくことができます。

  http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/

- *Internet Protocol Journal* は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、Cisco Systems が発行する季刊誌です。Internet Protocol Journal は、次の URL からアクセスしてください。

  http://www.cisco.com/ipj

- Cisco Systems のネットワーク製品およびカスタマーサポート サービスは、次の URL からお求めいただけます。

  http://www.cisco.com/en/US/products/index.html

- Networking Professionals Connection は、ネットワーク技術者が Web サイト上で、Cisco の技術者や他のネットワーク技術者とネットワーク製品やネットワーク技術について質問やアドバイス、情報を交換する Web サイトです。討議に参加するには、次の URL からアクセスしてください。

  http://www.cisco.com/discuss/networking

- Cisco の世界水準のネットワーク関連のトレーニングもご利用いただけます。最新の情報については、次の URL からアクセスしてください。

  http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html

Cisco ハードウェア製品に関する限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。Cisco のソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com で提供しています。次の手順を実行してく Ciso.com から、*Cisco Information Packet* および保証書、ライセンス契約書をダウンロードしていください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

   http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/cetrans.htm

   Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

   a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03B0 が選択されていることを確認します。

   b. 文書を表示する言語を選択します。

   c. **Go** をクリックします。

      Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

   d. このページから文書をオンラインで見ることもできますし、**PDF** アイコンをクリックして、PDF（Adobe Portable Document Format）形式で文書をダウンロードし、印刷することもできます。

   注記　PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Reade は Adobe の Web サイトからダウンロードすることができます。http://www.adobe.com.

3. お客様の製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

   a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

      78-6310-02C0

   b. 文書を表示する言語を選択します。

   c. **Go** をクリックします。

      Cisco warranty ページが表示されます。

d. このページから文書をオンラインで見ることもできますし、**PDF** アイコンをクリックして、PDF（Adobe Portable Document Format）形式で文書をダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスしてサポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml.

ハードウェア保証期間

Cisco 製ハードウェアの保証は、購入したエンドユーザがその製品を所有または使用している限りサポートされます。ただし、ファンおよび電源装置の保証期間は 5 年間に制限されています。製品の製造が中止された場合は、Cisco では製造中止の通知から 5 年間保証します。

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しに関する規定

Cisco またはその代理店では、Return Materials Authorization（RMA）要求の受領から 10 日営業日以内に交換部品を出荷するよう、商業上合理的な努力をします。実際の配達所要日数は、お届け先によって異なります。

Cisco は、一切の保証責任として購入代金を払い戻す権利を留保します。

RMA 番号の入手

製品を購入された会社までお問い合わせください。直接 Cisco から購入された場合は、Cisco の販売サービス担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入し、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	